

# KOINONIA EDUCATION CENTRE

2008年12月

ニュースレターNo13

## Merry Christmas and a Happy New Year!

皆さまのお祈りとご支援にによって、2008年も多くの祝福を受け、子供たちが守られ、成長を与えられましたことを心から感謝し、お礼申し上げます。

### 今年のケニア

大統領選挙に端を発し、治安が悪化し、部族意識をむきだしに、憎み合い、殺し合うという心痛む出来事でこの一年が始まりました。コイノニアの子供たちも大人達の話すことや、マスコミで報道されることに影響され、これまでほとんど話題にすることがなかった「自分は何族、あの子は何族」という会話を始めました。混乱が表面的にはあれ収まり始めた頃には、経済状況が悪くなり、スラムに住む人たちは、その日の糧を求めることに忙しくなり、次第に部族論議も消えていきました。アメリカ合衆国大統領選挙で、ケニア人の血をひくオバマ氏が当選したことは、ケニア人にとっても大きな喜びでした。オバマ・デーとして11月6日が国の休日となりました。ケニア人が部族の壁を越えて、オバマ氏の当選を共に祝うことができたことは、1年の終わりを飾るハイライトとなりました。



### 広がる可能性、芽生える才能 スラムで生まれ育つ子供たちに、世界が広いこと、

#### 将来の可能性が大きいことを伝えたい



\* **スポーツ**：陸上競技大会、空手トーナメント、サッカー対校試合に参加し自分たちの実力を試しました。新しい目標もできました。

\* **美術**：1学期はマッケンジー先生、2,3学期は大内先生が毎週子供たちの創造力を啓発する楽しい時間をくださいました。多様な画材や教材は、先生の一人一人への関わりが子供たちの意欲を沸き立たせ、制作に取り組む子供たちの目は輝いて

いました。ポール先生の陶芸も練達を見せています。

\* **音楽**：歌う、打楽器でリズムを楽しむ、合唱でハーモニーを作り出す、楽器を習う、踊るなど、音楽を体全体で表現する楽しさを体験しています。

\* **見学**：動物園、スーパーマーケット、八百屋さん、肉屋さん、パン工場、陶芸工房、飛行場、交通公園、国際協力機構（JICA）ナイロビ事務所などへの見学学習を行いました。JICA事務所では、初めて17階までのエレベーターに乗り、ナイロビを見渡し、国際協力について話を聞きました。パイロット、工場の経営者、医者、オフィスで働く人になりたい等、子供たちの将来への希望が大きく膨らむ機会となりました。



## 学習 ACE への移行

これまでの地道な取り組みの成果が現れ、子供たちの学ぶ態度が向上し、学力も付いてきました。同時に、託されている子供達が全員自分に自信を育てながら、学力をさらに向上させられるような教育プログラムを探してきました。そして、ACE(アクセラレイテッド・クリスチャン・エジュケーション)という、ホームスクーリングのプログラムを学校教育に取り入れたシステムに全面的に移行することを決めました。各クラスに数人ずついる学習障害を持つ子供や、理解するまでに相当時間をかけないといけない子供たちも、決して自分がだめ人間、負け組と思わず、自分のペースで確実に実力を高めていけるシステムです。勉強が得意な子供は、それなりのスピードで、より広い知識を得ながら学ぶことができます。そして全員が高校卒業資格を取得できます。ケニアでは8年生の小学校を終えても、成績が悪いためにセカンダリースクールへ進めない子供たちがたくさんいます。多くは、自分は失格者だとレッテルを貼ってしまいます。神さまが、ご計画を持ってこの世に誕生させた子供を、一人として失格者にはしたくありません。全人格的な成長をめざして、英語、算数、理科、社会の基本科目と共に、聖書を学び、音楽、美術、体育を学びます。



## サポート

スポンサーとして、一人の子供のために祈り、お支え下さった方々に心より感謝いたします。皆さまお一人お一人の祈りによって子供たちが育てられていることを思います。教会、学校、幼稚園、団体からのサポートは施設拡充、教科書、教材、給食などの購入に用いられました。また、何よりも忍耐強く、献身的に子供たちに関わる先生たちが与えられ、彼らの生活を支えてくることができましたことを心より感謝いたします。



## お客さま

東京バプテスト教会から10人の方々がコイノニアを訪問してくださいました。リーダーの一人は在日ケニア大使夫人バイオレット・アオリさんでした。コイノニアのことを心に留め、日本でも応援してくださいています。この日は子供たちにメッセージを語っていただきました。

## 新しい土地

現在のコイノニアは1軒の家を借りて運営しています。2009年1月からは生徒が80人以上になります。もう限界です。これまで、キバガレスラムから子供たちが徒歩で通える地域を探してきました。幾つかの候補地がありましたが、全て道が閉ざされてしまいました。教会と学校、可能であればクリニックも含める土地がどうしても必要です。教会の人々と共に祈り求めています。

皆さまの上に神様の祝福をお祈りいたします

May God Bless You!



## 日本での支援窓口

郵便振り込み先 コイノニア・アカデミー基金 00160-6-373439

会計担当：浜井和美 TEL: 03-5951-8236

コイノニア教育センター連絡先 E-mail [ichihashi@kcf.or.ke](mailto:ichihashi@kcf.or.ke) HP <http://www.kdn.ne.jp/~amani/>